

ようこそ 図書館へ

第8号

2010年4月
津市図書館



【津図書館】
2010.1.16 「竹添敦子さん図書館文学講座」



おもな内容 ・リサイクルフェア (P 2)
・レファレンス事例集 (P 4)
・知ろう私たちの郷土 (P 5)

【津図書館】
2010.1.23 「富安陽子さん児童文学講演会」



【きらめき図書館】
2009.12.12 「和紙ちぎり絵講座」



【安濃図書館】
2009.12.12 「おりがみ教室」



【うぐいす図書館】
2009.12.6 「高樓万子さん講演会」



津市図書館では、年間を通して様々な講座が開催されています。ぜひご参加ください！

2010
国民読書年





たくさん来ていただきました

リサイクルフェア

1月28日(木)・29日(金)

図書館は地域の情報拠点として、利用者の皆さんの読書要求に応えられるように、出版される資料を収集・整理し提供しています。それらすべての資料を閲覧できるようにしたいところですが、書架スペースには限りがあります。

そこで、魅力的な書架を保つために蔵書の新陳代謝を図りつつ、利用していただきやすいように整理する必要があります。内容が古くなった資料、長い間利用されなくなった資料、汚れが目立つ資料をはじめとして、利用状況を考慮しながら一次的に閉架書庫へ移動し、その後さらに選別した資料を除籍させていただいております。除籍した資料は廃棄になりますが、この資料を有効に活用するために「リサイクル」として市民の皆さんに無償譲渡させていただいております。

津市内の図書館では、方法は様々ですが「リサイクルフェア」と称してこの取組みを行っています。今回は、平成22年1月28日・29日に津市津図書館で行いました「リサイクルフェア」の様子をご紹介します。

さあ準備！

津図書館では、今回予定している本は約24,000冊、図書館内の施設では狭いため、津リージョンプラザ3階の生活文化情報センターが会場となります。段ボールの中で眠っていた本がいよいよ出発！職員みんなで図書館からの運び出しが始まります。広いスペースに次々運ばれる段ボールの山。



まず配置場所を決めて・・・



どんどん運んで・・・

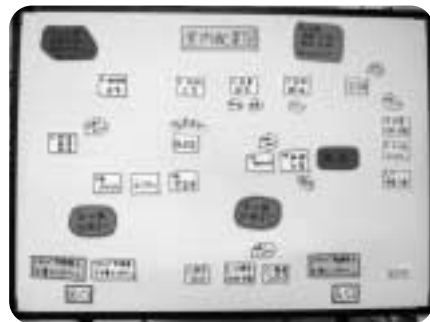


段ボール箱から出して見やすいように並べます



だんだん並んできました

一度にたくさんの方に入場していただきます。見やすいように、通路は十分確保できているかなど、確認しながらきれいに並べてやっと準備完了。



配置図準備完了
(待ち時間の間に場所の確認を)

さて当日は・・・

当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、一番早い時間の10時の整理券を持った方が、会場前にたくさん並んで、いまかいまかと10時の入場を待ち望んでいました。さあ10時、お待たせしました。今回は混乱を懸念して、事前に時間を指定した整理券を配布したことと、皆様のご協力により混乱もなくスムーズに入場していただくことができました。皆さんお目当ての分類のところで早速選書がはじまりました。お持ちいただく冊数は、おひとり本が10冊・雑誌10冊の20冊です。ご希望の本を手に入れていただけただしょうか。



終了です・・・

2日間たくさんの方に入場していただき、本をお持ち帰りいただきました。残念ながら売れ残った？本は、また段ボールに入れ次の機会を待ちます。

今回の入場者人数 1, 854人 冊数 19, 471冊

皆さん、ご協力ありがとうございました。

★21年度 津市図書館では次の日程で開催させていただきました。

きらめき図書館	平成21年	6月	6日～14日	58人	1, 245冊
芸濃図書館	平成21年	6月	13日	92人	393冊
うぐいす図書館	平成21年	6月	27日～28日	202人	847冊
久居ふるさと文学館	平成21年	7月	1日～6日	323人	3, 322冊
安濃図書館	平成21年	8月	22日～23日	153人	830冊
一志図書館	平成21年	9月	9日～20日	321人	570冊
河芸図書館	平成21年	10月	31日～11月8日	301人	1, 653冊

(リサイクルフェア開催については、広報津・図書館HP等でご案内させていただいております。)

レファレンス事例集

Q 「マイクログラム」という単位はどのくらいになるか。

A まず、マイクログラムについてR031「世界大百科事典」をひいてみたところ、「マイクロ」の項に『マイクロ(micro) 10^{-6} 倍の意味で、記号は μ 』との記述があったので、「マイクロ+グラム」であることが分かった。他に、単位の本420.7「はやりわり単位のしくみ」、609「やさしい計量単位の話」などで確認すると「マイクロ」は、「 $10^{-6}=0.000001$ 」ということだったので、マイクログラム = 0.000001g と判明した。

Q 「傘寿」について書かれている本はあるか。

A 385「冠婚葬祭」(小学館)によると、「傘寿」は80歳の祝いを指すとのこと。「傘」の略字「伞」が八と十に見えることから、とある。また、傘寿の祝いは健康状態を考えて行つのがよいとされ、贈り物としては衣類などがよいと記されている。他に賀寿としては以下のものが挙げられている。

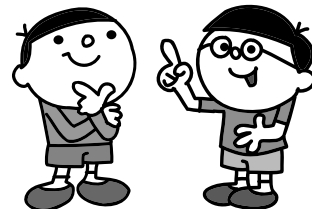
◎還暦 <small>かんれき</small> 61歳	◎古希 <small>こき</small> 70歳
◎喜寿 <small>きじゆ</small> 77歳	◎米寿 <small>べいじゆ</small> 88歳
◎卒寿 <small>そつじゆ</small> 90歳	◎白寿 <small>はくじゆ</small> 99歳

Q 津綫子について知りたい。

A L215.6「津市史 第2巻」によると、津綫子とは、絹や紗のような撚織の総称であり、もともとは、清水村(旧安濃町)が運上品として差出すために豊臣時代(1583~1598年)に指定をうけたもので、製織は他の村が行なったが、染め上げて完成品とするのは清水村であったとのこと。その後、将軍への献上品にもなったため、制作業の持続と品質保持のために幅広の上綫子を献上品以外には織る事を禁じたりした。明治時代ごろまでは製造されていたようであるが、明治維新後肩衣が廃止された、他地方に類似品ができ、圧迫されたなど理由は諸説あるが、政府が献上品としての政策しかとらず、商品としての改善と発達に力を注がなかったため衰退したと記されている。

Q 堀坂山の上にある石碑は何が書いてあるのか知りたい。

A 堀坂山は、「角川 日本地名大辞典 24三重県」によると、『「ほっさかやま」ともいう。松阪市西部にある山。標高757.4m。伊勢富士と称されるほど山容は美しい。』とある。石碑に書かれている文字については、「松阪市史 第1巻」に堀坂山の記述があり、石造法華塔の他、石造経塚が2体、銅造胎蔵界大日如来坐像があり、それぞれに記されている銘が紹介されている。



図書館員のひとりと

book jacketはいかが？



普段何気なく使っている「ブックカバー」。これは日本語で、実は英語で「book jacket」と呼ぶそう。そのブック

カバー、津市図書館HPでダウンロードできるってご存知でしたか？シロモチくん、みずぎん、ツヨインジャー柄の全部で8種類、すべてご自宅のプリンターで印刷できるA4サイズです。いつか、このブックカバーを使っている方に会いたい！！と思っています。ぜひご利用くださいね。



知ろう私たちの郷土

橋本醤油店と歴代当主（1） 中川 豊

津市津図書館の特殊コレクション橋本文庫は、昭和62年に津市内で醤油店を営む橋本信賢氏により寄贈された。蔵書およそ3,000点、葉書約6,600枚である。津図書館の特殊コレクションのうち量的にもっとも充実したものとなっており、谷川士清関係の資料など郷土に関わりの深い資料も多数含んでいる。ところがこの橋本家と歴代当主についての記述は『橋本文庫目録』に大まかに触れられているだけである。そこで、寄贈者橋本信賢氏の直談をもとに、2回にわたりその不備を多少なりとも補いたい。

橋本醤油店は、文政年間(1818～1830)、伊勢街道沿いに開業した。店の眼前には志登茂川が流れ、およそ1 km程で伊勢湾へ注いでいる。当時のこの境界の様子は『伊勢参宮名所図絵』(寛政9年刊)の挿絵によってうかがうことができる(写真)。画中で江戸橋とともにひときわ目を引くのが常夜燈であろう。この常夜燈は安永6年(1777)の建立で、現在「江戸橋常夜燈」と呼ばれ、津市指定有形民俗文化財に指定されている。その真向かいに位置するのが橋本醤油店である。橋本家は、この周辺一帯の地主でもあった。挿絵周辺の土地はことごとく橋本家の所有するところであった。伊勢街道は、常夜燈の角で高田本山専修寺へと向かう伊勢別街道(関～津)へと分かれる。つまり、橋本醤油店は伊勢街道、伊勢別街道の分岐点に位置しており、神宮、専修寺、あるいは京都へと向かう交通の要衝であったわけである。江戸橋のたもとには橋本家の蔵があり、収穫された米がここから海路によって運搬されていた。橋本醤油店は、かくのごとき地理的好条件を背景におよそ二百年間地主兼、醤油販売を生業として繁盛し、その命脈を今に繋いでいるのである。開店のごく初期には、酢を商っていた時期もあったようで、その名残として近年まで「酢屋」と呼称されていたという。

さて、橋本家の歴代当主については、信賢氏のご教示の他に現在橋本家の仏前に供えられてある『先祖

年廻操出記』と『三重県紳士録』(三重県紳士録編纂会、大正4年5月)が手掛かりとなる。ちなみに、橋本家の墓石は、昭和51年に新しいものに建て替えられたもので、残念ながら歴代当主の墓誌は記されていない。

信海力(初代清助)

享和3年(1803)～慶応4年(1868)66歳

信敏力(二代清助)

天保5年(1834)～明治8年(1875)42歳

信重(三代清助)

安政4年(1857)～大正13年(1924)68歳

直治郎(四代清助)

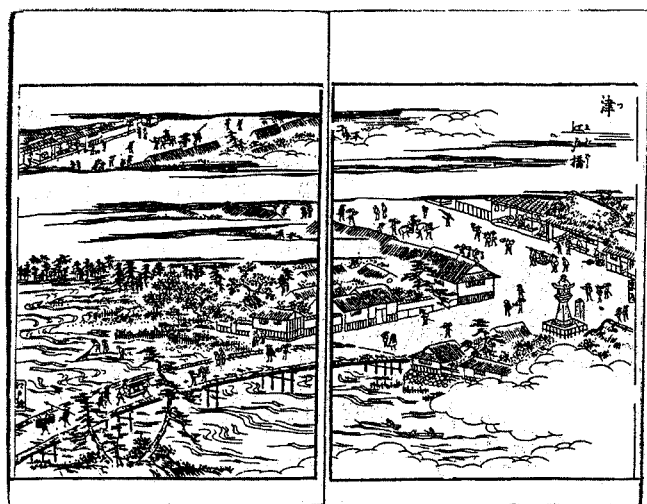
明治20年(1887)～昭和43年(1968)81歳

誠太郎(五代清助)

大正元年(1912)～昭和55年(1980)68歳

当主は代々清助を襲名して今日に至っている。信賢氏によると蔵書の収集に携わったのは三代信重、四代直治郎で、そのほとんどは信重の収集にかかり、謡曲関係についてのみ、直治郎によるという。

今回は信重、直治郎、信重の弟兼二郎についての事跡などを可能な限り踏み込んでみていくこととする。



(橋本文庫 L29-1～12 伊勢参宮名所図絵)

休館日・開館時間などの **ご案内**



下記の休館日のほかに特別整理期間（年1回、14日以内）や、臨時に休館することがあります。詳しくは、各館の図書館カレンダーや図書館たいむず、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

津市図書館ホームページ (<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>)

館名	開館時間	休館日
津図書館 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内 TEL 229-3321	平日 9:00～19:00 土・日曜日、祝・休日 9:00～17:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
久居ふるさと文学館 久居東鷹跡町2-3 TEL 254-0011	平日 9:00～18:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたる場合は開館) 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
ポルタひさいふれあい図書室 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内 TEL 254-0464	平日 10:00～21:00 土・日曜日、祝・休日 10:00～18:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
河芸図書館 河芸町浜田782 TEL 245-5300	10:00～18:00	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたる場合は開館) 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
芸濃図書館 芸濃町棕本6824 津市芸濃総合文化センター内 TEL 265-6004	9:00～17:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
美里図書館 美里町三郷51-3 津市美里文化センター内 TEL 279-8122	9:00～17:00	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたる場合は開館) 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
安濃図書館 安濃町東観音寺418 津市サンヒルズ安濃内 TEL 268-5822	10:00～18:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
きらめき図書館 香良洲町2167 津市サンデルタ香良洲内 TEL 292-4191	9:00～17:00 (7・8月の平日は 18:00まで)	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたる場合は開館) 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
一志図書館 一志町井関1792 津市とことめの里一志内 TEL 295-0116	10:00～18:00 (7・8月の平日は 19:00まで)	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたる場合は開館) 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
うぐいす図書館 白山町二本木1139-2 津市白山総合文化センター内 TEL 262-5000	平日 10:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたる場合は開館) 毎月最終木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
美杉図書室 美杉町八知5828-1 津市美杉総合開発センター内 TEL 272-8092	9:00～16:30	土・日曜日 祝・休日 年末年始(12月28日～1月4日)

※上の表中「祝・休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいいます。

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第8号

発行日/平成22年4月1日 編集及び発行/津市教育委員会 津市津図書館
 三重県津市西丸之内23番1号津リージョンプラザ内 TEL (059) 229-3321